

よこぜがわ

令和2年6月16日より横瀬川ダムの管理を開始します～世界初「そくすいろうげんせいほうしき側水路減勢方式」を採用したダムの運用開始～

平成2年6月から建設事業に着手してきた横瀬川ダムが、この度完成を迎え令和2年6月16日より管理を開始します。

横瀬川ダムは中筋川沿川地域の洪水被害の防止・軽減や、四万十市の安定的な水道用水の供給等を目的に建設をすすめてきました。

貴重な土地をご提供いただいた地権者の皆様をはじめ、多くの関係者のご理解とご協力により完成した横瀬川ダムは、中筋川ダムとの統合管理により、中筋川・横瀬川の洪水被害を軽減するとともに必要な水を供給するための運用に努めてまいります。

本発表は、四国圏広域地方計画広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

令和2年6月15日**国土交通省 四国地方整備局 渡川ダム統合管理事務所**

問い合わせ先

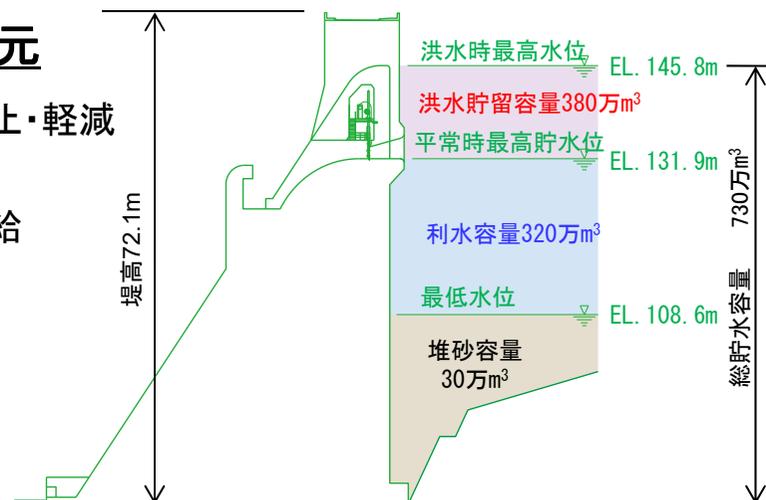
国土交通省 四国地方整備局 渡川ダム統合管理事務所**電話 (0880) 66-2501**

事務所長 三宅 和志

◎管理課長 宮崎 泰典 内線(331)

1. 横瀬川ダムの目的・諸元

- 1) 中筋川沿川の洪水被害の防止・軽減
- 2) 流水の正常な機能の維持
- 3) 四万十市への水道用水の供給



洪水時最高水位到達時(令和2年4月23日)

2. 事業経緯

- | | |
|----------|----------------|
| 平成2年6月 | 建設事業着手 |
| 平成15年4月 | 工事用道路建設工事着手 |
| 平成23年3月 | 仮排水トンネル完成 |
| 平成28年11月 | ダム本体建設工事起工式 |
| 平成29年5月 | ダム本体コンクリート打設開始 |
| 平成29年12月 | ダム定礎式 |
| 平成31年3月 | ダム本体コンクリート打設完了 |
| 令和1年10月 | 試験湛水開始(湛水式) |
| 令和2年4月 | 洪水時最高水位到達 |
| 令和2年5月 | 試験湛水完了 |
| 令和2年6月 | 管理開始 |



ダム定礎式



ダム本体コンクリート打設完了



試験湛水開始(湛水式)



試験湛水完了(平常時最高貯水位)

3. 横瀬川ダム・中筋川ダム統合管理

- 横瀬川ダムの完成に伴い、渡川ダム統合管理事務所は、横瀬川ダムと中筋川ダムの統合管理を開始します。
- 2つのダムで洪水調節を行い、中筋川・横瀬川の洪水被害を軽減するとともに、四万十市や宿毛市などにかんがい用水や水道用水、工業用水など必要な水の供給を行います。

横瀬川ダム
令和2年6月16日管理開始

ダムからの放流により流水の正常な機能の維持に努めます。

平常時の横瀬川

平成18年8月撮影

濁水時の横瀬川

平成7年9月撮影

中筋川ダム
平成11年4月管理開始

横瀬川ダムと中筋川ダムの統合管理により、中筋川沿川の浸水被害の軽減を図ります。

平成17年9月 (台風14号)

平成28年9月 (台風16号)

昭和47年7月洪水相当の降雨に対する被害軽減効果

横瀬川ダム完成前(中筋川ダムのみ)

凡例
■ : 中筋川ダムのみの浸水範囲

↓

中筋川、横瀬川からの氾濫による浸水被害が解消できるものと想定されます。
(浸水面積約540ha、浸水家屋約630戸等の解消)

横瀬川ダム完成後(横瀬川ダムと中筋川ダムの統合管理)

4. 横瀬川ダムの特徴

■ダム下流の環境を保全するため、水の勢いを弱める減勢工をダムにくっつけてゆっくりと水を流す「そくすいろげんせいほうしき側水路減勢方式」を世界で初めて採用しています。



洪水時最高水位到達時(令和2年4月23日)



減勢のイメージ



令和2年5月18日の降雨で実際に側水路からの越流を確認
(写真: 令和2年5月19日)

■横瀬川ダムの日本で初めてダム本体にクライミングウォール施設を整備しています。



問い合わせ先:
宿毛市役所観光商工課